

冬の教研

どうする？「道徳の「教科化」」 道徳実践の可能性を探る！ 「道徳の押し付けは、 子どもの価値を毀滅する」

2月5日泉北教組、泉大津教組の共催で、「どうする？道徳の『教科化』」道徳実践の可能性を探る」をテーマに教研を行いました。

前半は大阪教育文化センターの山口さんより道徳の教科化の背景にあるものと道徳性の教育をどう進めていけばよいかを講演していただきました。

山口さんの講演より

道徳教育は必要か

道徳教育は必要である。私たちは、子どもたちに、

「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。また、第2章以下に示す内容の取扱いのうち内容の範囲や程度等を示す事項は、全ての児童に対して指導するものとする内容の範囲や程度等を示したものであり、**学校で特に必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができる**」(総則第2内容等の取扱いに関する共通的事項2より)【資料1】

「(略)道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、**物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる**」(道徳科の目標)【資料2】

「3 教材については、次の事項に留意するものとする」として「児童の発達の段階や特性、地域の実情等を考慮し、多様な教材の活用に努めること」「教材については...人間尊重の精神にかなうものであって...児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるものであること」「**多様な見方や考え方のできる事柄を取り扱う場合には、特定の見方や考え方に偏った取扱いがなされていないものであること**」(改訂学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」の第3「指導計画の作成と内容の取扱い」)【資料3】

「こんな人間に育ってほしい」と願いながら教育活動をすすめている。「こんな人間」の自身は、「自分を大事にし、親やきょうだいを大事にし、何かにとりくんだり問題が起こったりすれば、みんなで話し合い、仲間と力をあわせて生きていく人間」といういいのではないか。そうした人間に育ってほしい



講演する山口さん

いという願いを持って、教科や教科外の活動にとりくむことは、とても大切なこと。大事なことは、そう願っていてもそれを決して押しつけない、ということ。子どもたちがそうした考え方や生き方を自主的に選び取っていただけるように、援助することが大事。

改訂学習指導要領で

道徳科が各教科の「要」とされることによって、道徳科が戦前の「修身」ように「筆頭教科」としての位置づけを与えられる危険性を持つ。

同時に私たちが使える部分もある。資料1〜3は、教育課程民主的編成の根拠となるものであり、現場で活用できる可能性を持つ。

人類普遍の価値を

子どもたちに

人類普遍の価値は憲法の中にある。平和主義、基本的人権の尊重、民主主義、は誰も否定できない道徳的価値を持つもの。徳目の「生命の尊さ」「相互理解、寛容」「真理の探究」にも合致している。

改訂学習指導要領の徳目にも「先生や学校の人びとを敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくる」とも、様々な集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること」(第5学年及び第6学年)とあるように、教科外教育の中で、子どもたちの自主性を育て、自治の力を身につけさせること

が大切。日々の生活指導や児童会、生徒会活動とおして、子どもたちの自主性を育て、子どもたちに自治の力を身につけさせるとりくみを大切に。

リアリティーに

即した指導を

いくら徳目を並べ立てたところで、また、その徳目に沿った読み物資料を与えたとところで、子どもの現実と離れたところにあるのなら、子どもは心を動かさずがらない。子どもは、社会とのかかわり、自然とのかかわり、人間とのかかわりの中で生きていく。



後半は、公立小学校の教諭である佐野先生に、道徳を学級づくりに活かす取り組みについて実践報告をしていただきました。

学級づくりと

結びつけて

「教師からの一方的な価値の押し付けでは道徳性は育たない」「『本音』と『建前』を使い分けるような道徳ではなく、つらいことはつらい、うれしいこと



報告する佐野さん

はうれしいと言いつつも、よくな関係性を子どもたちとともに考えていくことのできる道徳こそ重要ではないか」という指摘が印象的でした。

参加者の感想

私たち教師が押しつけてなく子どもたちの心の葛藤も含めてその成長を長く見守り、その変化に気づいてあげること、それが本当の道徳の姿なのだという思いを強く持ちました。

本音を出し合える中で、話し合ったりふりかえったりできるという実践をされていることがわかりました。価値観を押し付けられないというスタイルについて、とても学ばせていただきました。

